



**TOBILA**  
SYSTEMS

2021年10月期 第3四半期

# 決算説明資料

トビラシステムズ株式会社

(東証一部 4441)

- 1 事業概要
- 2 成長可能性及び競争優位性
- 3 2021年10月期 現在までの具体的な成果
- 4 2021年10月期 第3四半期決算概要
- 5 参考資料

【決算説明資料】

# 1

事業概要

# 企業理念

私たちの生活  
私たちの世界を  
よりよい未来につなぐ  
トビラになる

## テクノロジーで社会の課題解決に挑戦する

私たちは素晴らしい未来を想像し、失敗を恐れず変化を続け、常識を疑いあるべき形を追求します。  
社会的課題を解決する、人々の役に立つ製品を次々に生み出し、持続的かつ発展的に成長するため適切な利益を得ます。  
自分と大切な人が幸せな時間を送れる環境であり続けることが、  
私たちの成長や世界中の人々の生活の向上につながっていきます。

安心して暮らせる世界を実現するために人を守るセキュリティで社会課題の解決に挑みます。



## 「人を守るセキュリティ」で成長

2021.6

新しいセキュリティサービス  
リリースにより更なる社会的課題の  
解決へ挑戦

2016.3

3大キャリアすべての  
オプションサービスに提供を開始

2015.3

警察庁と特殊詐欺電話に関する覚書締結  
情報提供を受ける体制を構築

2011.6

迷惑電話の社会問題解決を目的とした迷惑電話フィルタ  
「トビラフォン」販売開始

2010

代表明田が祖父の迷惑電話詐欺被害をきっかけに  
迷惑電話フィルタの開発に着手

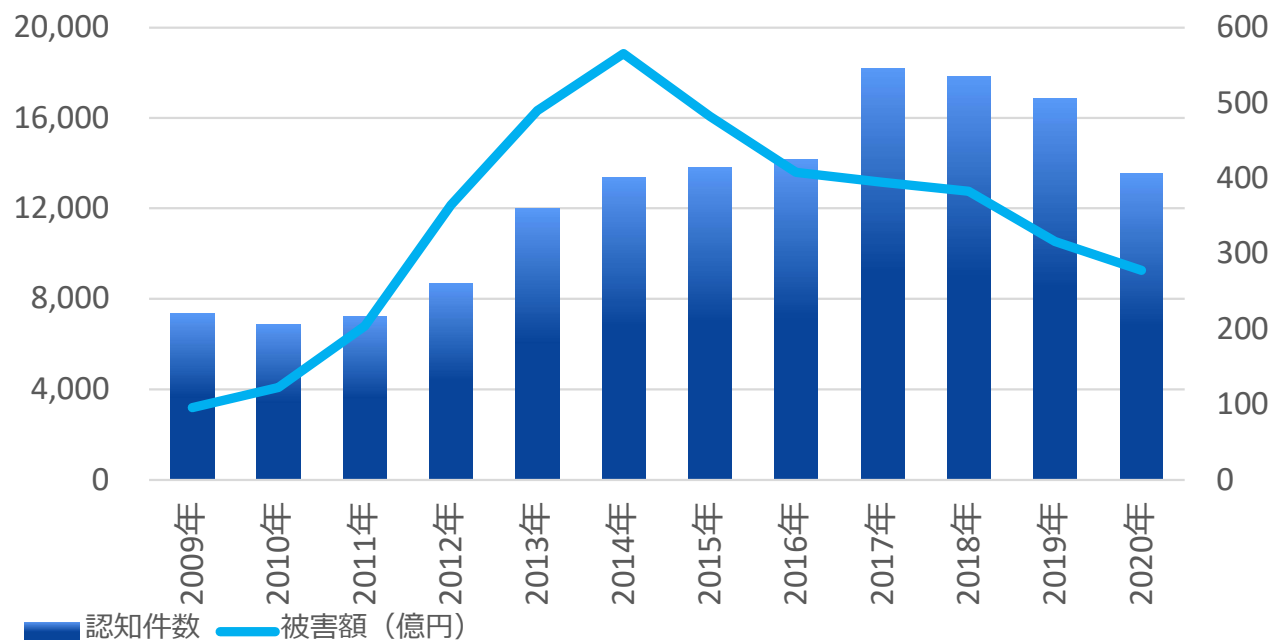


## なぜこの事業に取り組むのか？

## 社会全体で大きな損失

特殊詐欺  
認知件数  
13,526件

年間被害額  
約278億円



(出典) 警察庁広報資料「令和2年における特殊詐欺認知・検挙状況等について」

▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼

## 私たちが解決に挑戦

代表取締役社長 明田の祖父が被害にあったことがきっかけで開発に着手

スマホアプリの開発能力  
ビッグデータの解析能力  
サービスインフラ構築能力  
セキュリティ対策能力

テクノロジーを駆使して、  
サービスを継続的にアップ  
デートし、解決に挑戦

／ 使った瞬間から ／  
迷惑電話を  
強力ブロック



モバイルアプリ



固定電話



ビジネス用



モバイル向け

迷惑電話や迷惑SMSをブロック。大手3キャリアに採用

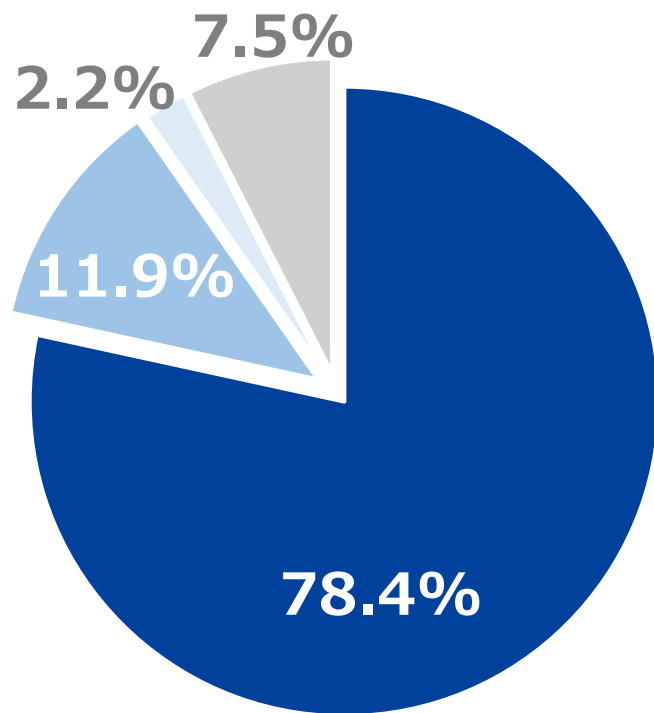
固定電話向け

不要な営業電話や詐欺電話をブロック。IP電話のオプションとして主に提供

ビジネス向け

スマホアプリで、会社の番号から受発信できる。クラウド型電話サービス

## 迷惑情報フィルタ事業を中心に成長



FY2020 売上構成比

### 迷惑情報フィルタ事業

- モバイル向けフィルタサービス
- 固定電話向けフィルタサービス
- ビジネスフォン向けフィルタサービス
- その他

- ▶ モバイル向け、固定向けは今後も安定的な成長を見込む
- ▶ 次の成長へ研究開発、事業アライアンス、ビジネスフォン向けフィルタへ投資



【決算説明資料】

# 2

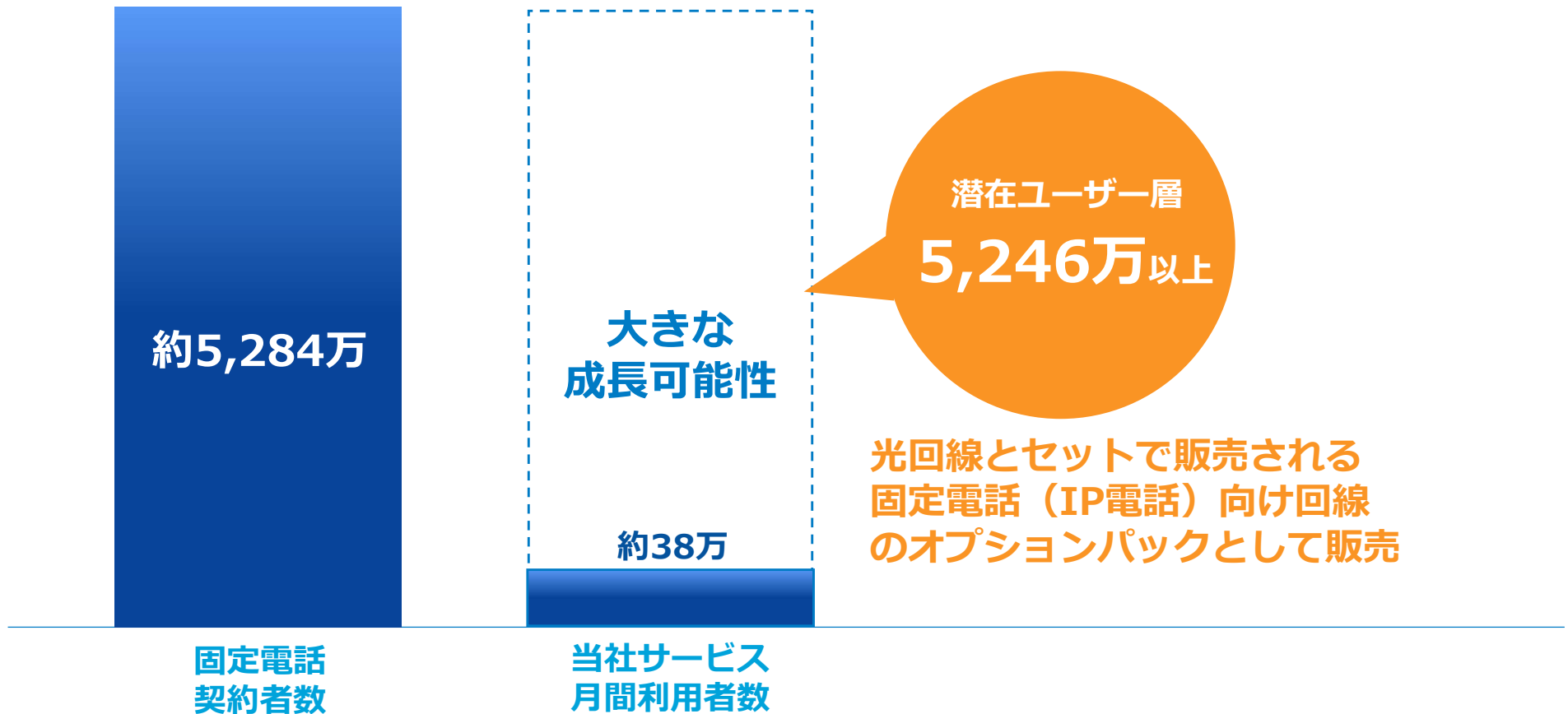
成長可能性及び競争優位性

オプションパック契約者数は推定約4,400万となっており、  
潜在ユーザー層は3,200万以上と、大きな成長可能性



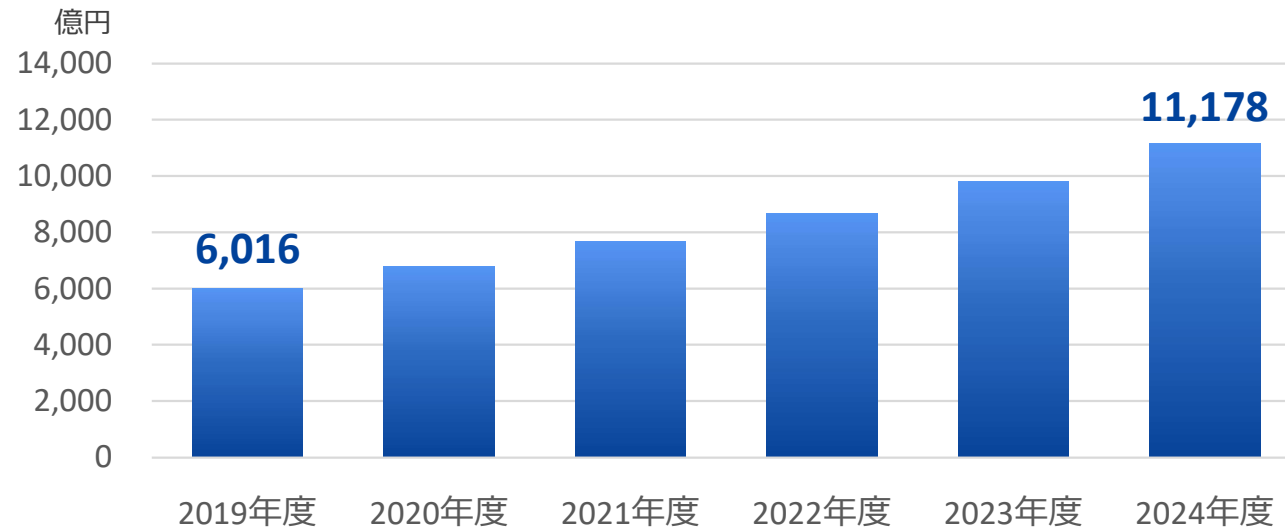
※オプション契約者数：ソフトバンクは当社把握データ、auはKDDI株式会社公表のスマートパス+スマートパスプレミアム契約者数 (<https://www.kddi.com/corporate/ir/finance/report-segment/>)、NTTドコモは2018年12月19日公表のオプション契約者数より当社推定。  
※月間利用者数には、一部暫定値が含まれております。今後確定値が反映された場合に、多少の増減が発生する可能性があります。

## 大手アライアンス先の開拓により大きな成長可能性



※固定電話の契約数：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェア」四半期データ（2021年6月18日公表）

## トビラフォンCloudの充実化を図り、拡大するSaaS市場での成長を目指す



成長するSaaS市場  
や法人携帯市場にお  
いて売上高100億円  
を目指す。

※SaaS市場規模：スマートキャンプ株式会社「SaaS業界レポート2020」



## 様々な機能との連携・付加

+



×



×



事実上競合は  
存在しない

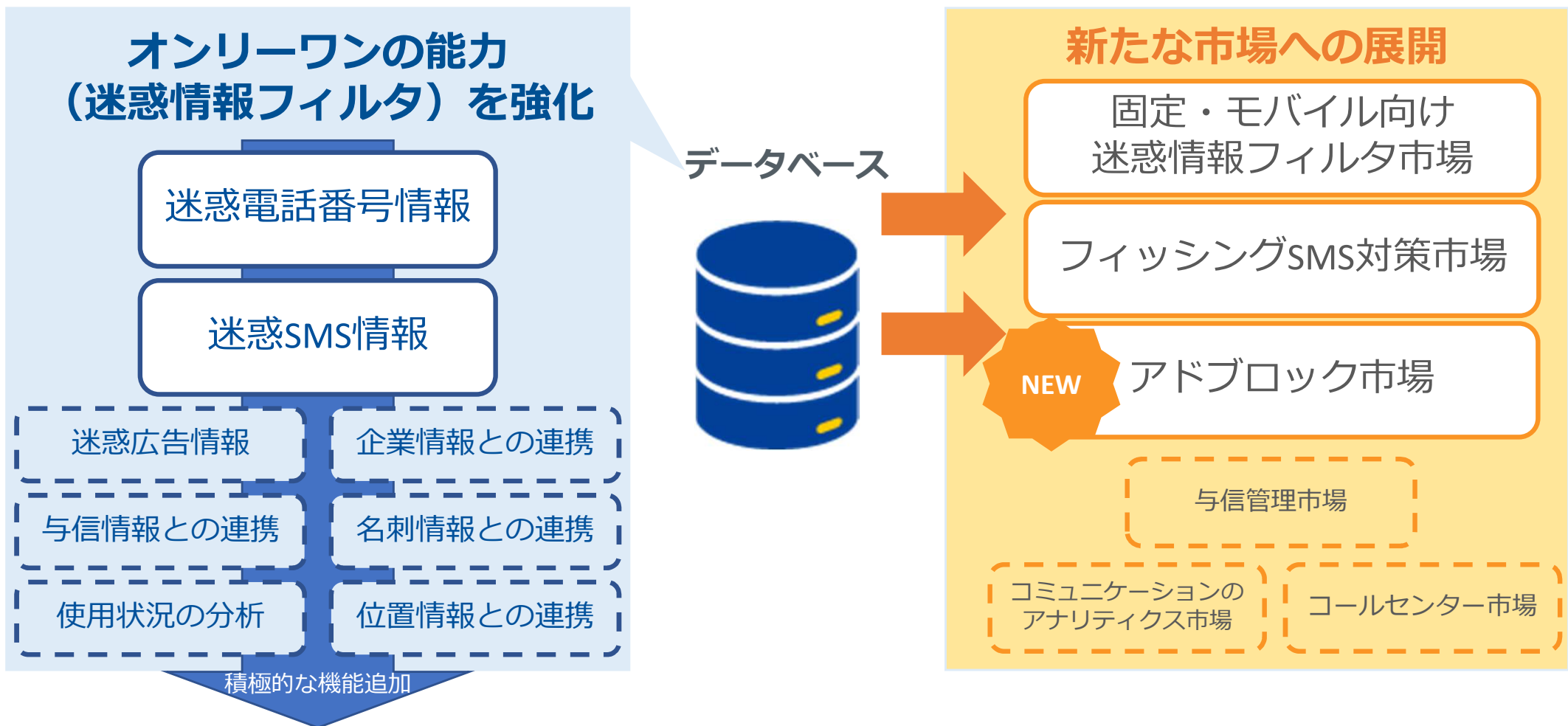
オンリーワン  
企業として、  
高い参入障壁

	当社	海外 A社	国内 B社
警察との 連携	○	×	×
ユーザー数	○	△	×
キャリア への採用	○	×	×

- ▶ 独自のアルゴリズムは複数の特許を取得
- ▶ 大量のデータを活用し、継続的にデータベースを更新



研究開発、M&Aを通じてオンリーワンの能力を強化し、  
当社の強みが発揮できる新たな市場への展開



## 中期的な成長イメージ

## ▶ モバイル向け

大きな成長可能性を残しており、引き続き**大きな売上高成長**が期待できる

## ▶ 固定電話向け

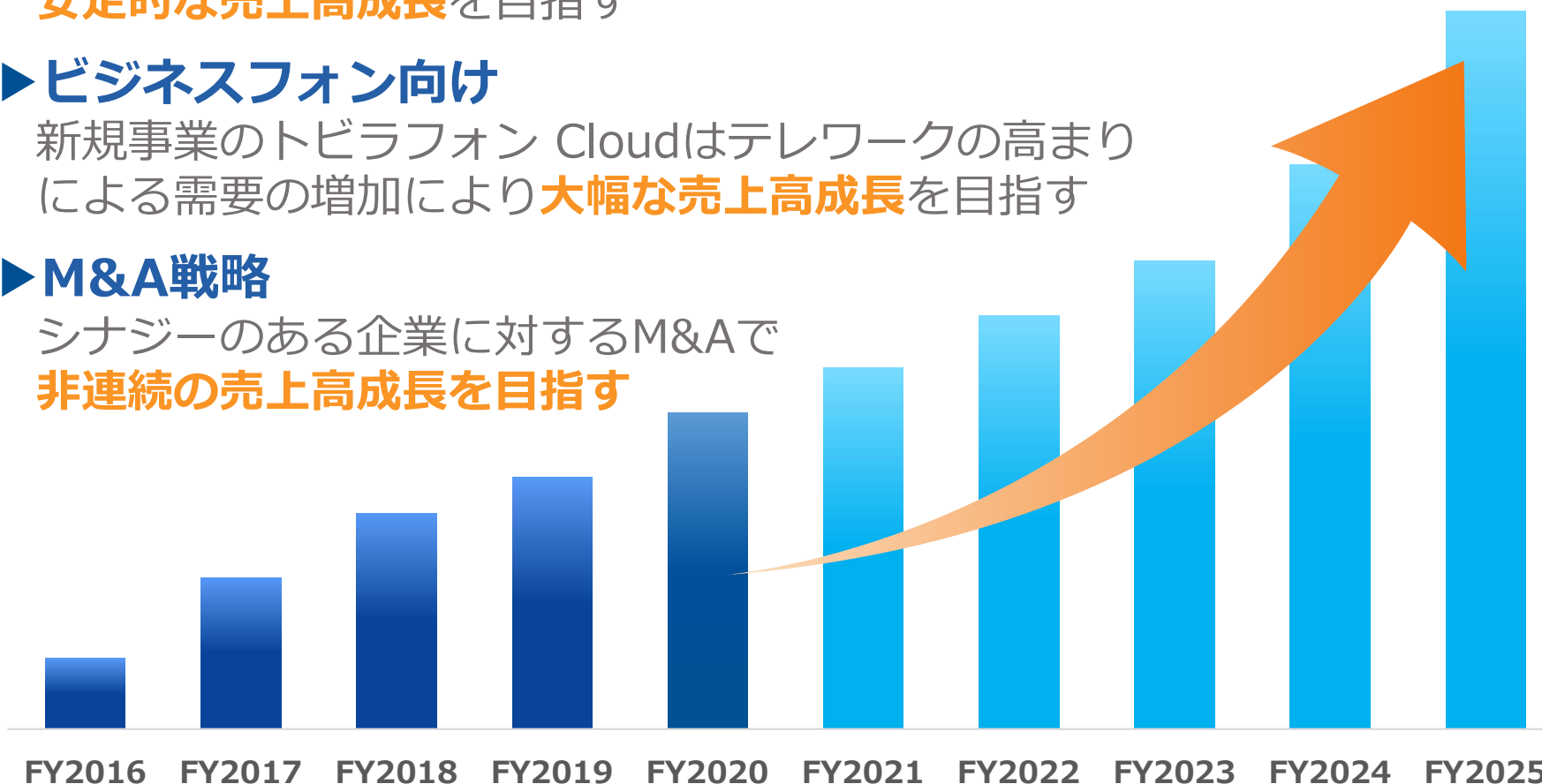
潜在市場規模は大きく市場の関心も高いことから、**安定的な売上高成長**を目指す

## ▶ ビジネスフォン向け

新規事業のトビラフォン Cloudはテレワークの高まりによる需要の増加により**大幅な売上高成長**を目指す

## ▶ M&amp;A戦略

シナジーのある企業に対するM&Aで**非連続の売上高成長**を目指す



【決算説明資料】

# 3

2021年10月期 現在までの具体的な成果

注目

広告ブロックアプリ「280blocker」の買収

▶ 2 トビラフォンモバイルをリニューアル

▶ 3 名古屋大学発ベンチャー、株式会社Sonoligoへの出資

# 広告ブロックアプリ「280blocker」の買収

280

blocker

迷惑電話・SMS、迷惑広告までをカバー

広告ブロック器使用前

広告に埋もれて  
コンテンツがほとんど見えない

280  
blocker

広告ブロック器使用中

広告が消えて  
スムーズにコンテンツが見える



- ▶ AppStoreダウンロード数No.1広告ブロックアプリを買収
- ▶ 迷惑電話、SMS、迷惑広告の脅威にワンストップで対応
- ▶ 自社サービスのダイレクトセールス強化を目指す





## 「トビラフォンモバイル」リニューアル

もっと身近な迷惑電話・特殊詐欺対策アプリへ進化！

自動で  
迷惑電話を  
警告！



着信時に  
相手が  
わかる！



迷惑な  
メッセージを  
警告！



- ▶ トビラフォンモバイルをリニューアルし、よりお求めやすく
- ▶ オプションパック未加入の格安プラン契約者への受け皿に

## 名古屋大学発ベンチャー、株式会社Sonoligoへの出資



4 質の高い教育を  
みんなに



8 働きがいも  
経済成長も



- ▶ 積極的に東海のスタートアップ・エコシステム発展に貢献
- ▶ とともに独自のアイデアと技術を生かし、社会課題解決を目指す
- ▶ 事業の成長を通じて、SDGs達成へ

【決算説明資料】

# 4

2021年10月期 第3四半期決算概要

売上高、営業利益、当期純利益すべて計画以上の進捗  
来期以降の成長のため、積極的な投資を検討

### 売上高

1,057 百万円

前期比 117.2%  
進捗率 75.0%

### 営業利益

450 百万円

前期比 119.7%  
進捗率 87.1%

### 当期純利益

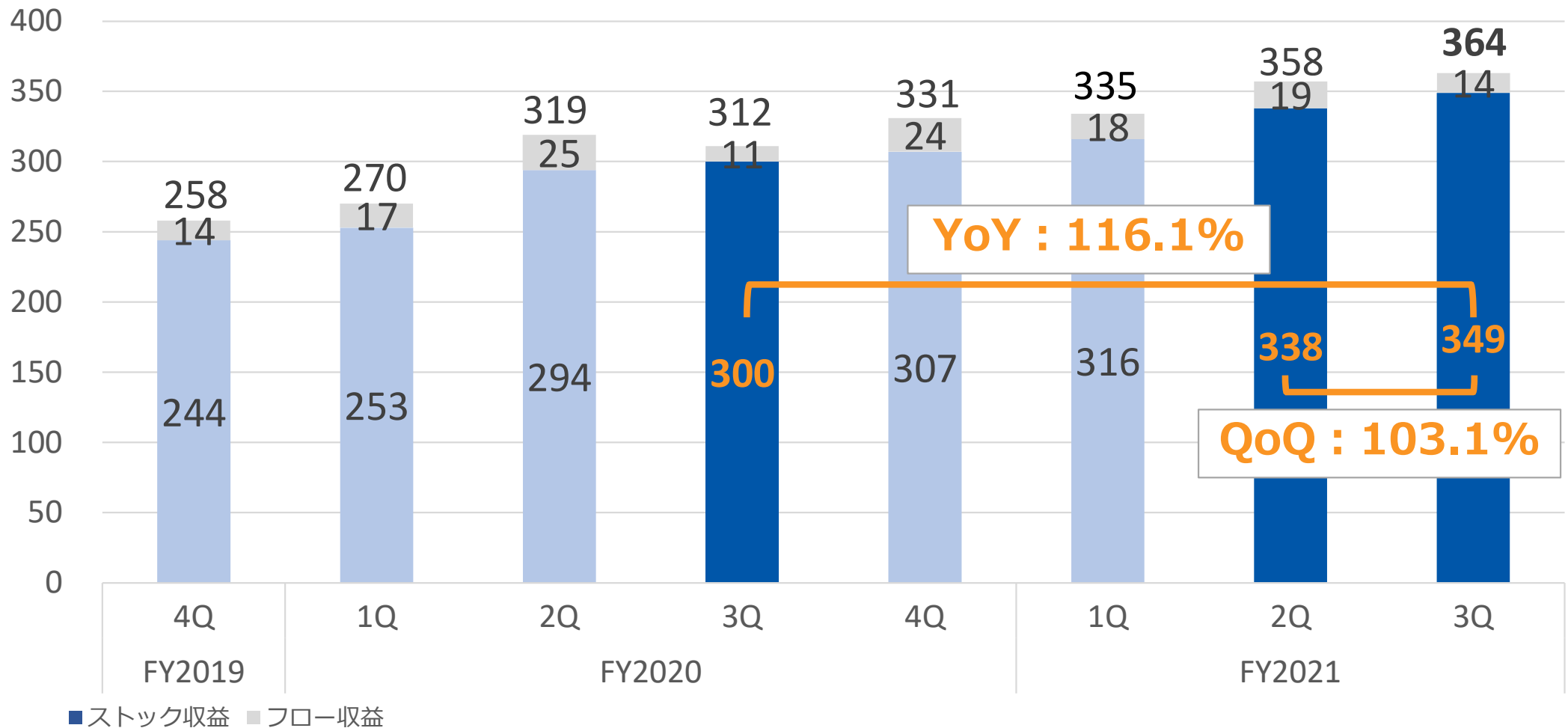
310 百万円

前期比 128.2%  
進捗率 88.1%

- ▶ ストック収益の順調な成長が売上高の計画達成を支える
- ▶ 広告費等の展開を行うため、通期での利益見込みに変更なし
- ▶ 来期以降の成長のための投資を積極的に検討する

## ストック収益は前年同期比116.1%、前四半期比103.1% 上場後、ストック収益は連続して成長を続ける

(百万円)





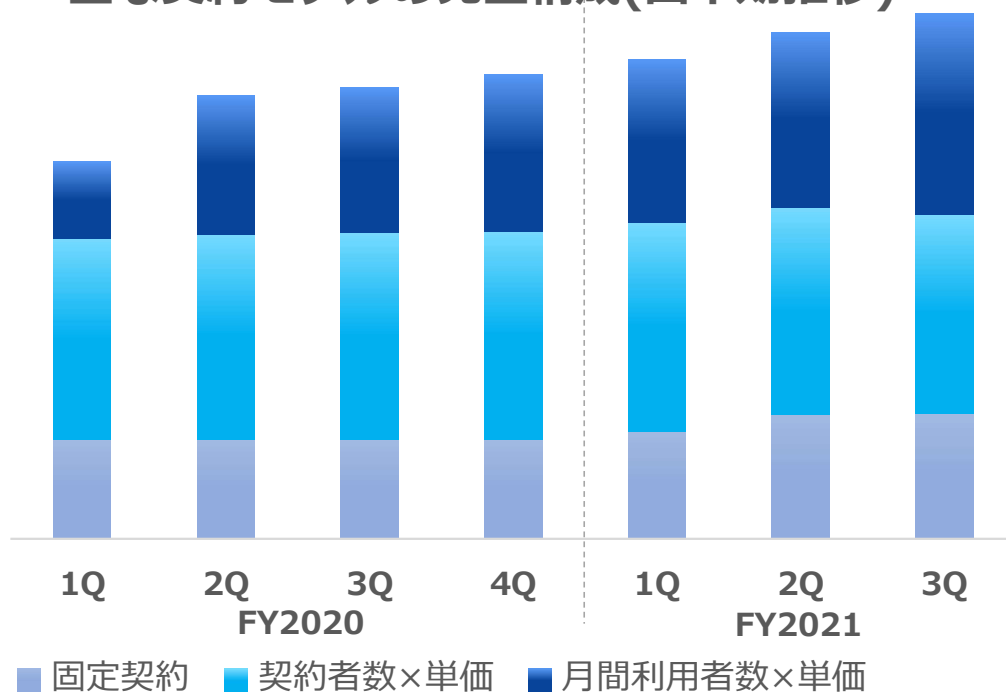
## 事業全体では、対前年同期比において18%超の売上成長

(単位：百万円)

	FY2021 3Q実績	FY2021 2Q		FY2020 3Q	
		実績	QoQ	実績	YoY
<迷惑情報フィルタ事業>	344	335	102.6%	290	118.9%
モバイル向け	290	281	103.2%	248	116.7%
固定電話向け	37	37	100.8%	33	111.8%
ビジネスフォン向け	16	17	97.7%	7	221.1%
<その他>	19	22	86.7%	22	86.0%

## 月間利用者数×単価はプロモーション効果により、 売上高成長率14.8%の成長を達成

モバイル向けフィルタ  
主な契約モデルの売上構成(四半期推移)



※ 2021年10月期第2四半期と第3四半期における売上高および月間利用者数を比較しています。

### 対前四半期 (※)

#### ▶ 月間利用者数×単価

売上高成長率 **114.8%**  
月間利用者数成長率 123.6%

#### ▶ 契約者数×単価

売上高成長率 96.4%  
月間利用者数成長率 112.0%

#### ▶ 固定契約

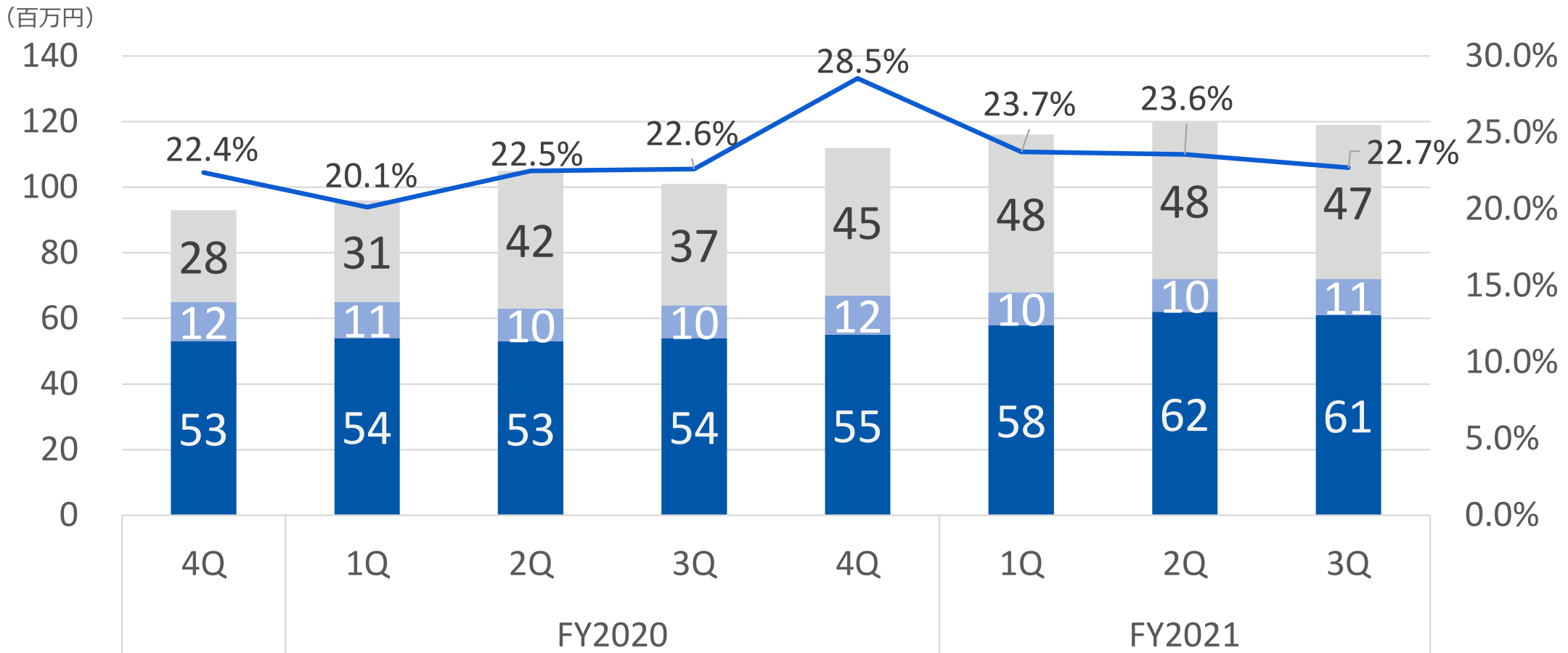
売上高成長率 **100.0%**  
月間利用者数成長率 105.6%

## 累計期間においても、事業全体において順調に推移 ストック収益の継続的な伸長で通期計画達成を見込む

(単位：百万円)

	FY2021 3Q累計	FY2021 通期計画		FY2020 3Q	
		計画	進捗率	実績	YoY
<迷惑情報フィルタ事業>	997	1,342	74.3%	829	120.2%
モバイル向け	837	1,142	73.3%	707	118.4%
固定電話向け	113	138	82.2%	103	109.8%
ビジネスフォン向け	45	60	74.5%	17	253.3%
<その他>	60	67	90.0%	73	83.2%

## 売上とのバランスを考慮の上、コントロールすることで 計画的に推移



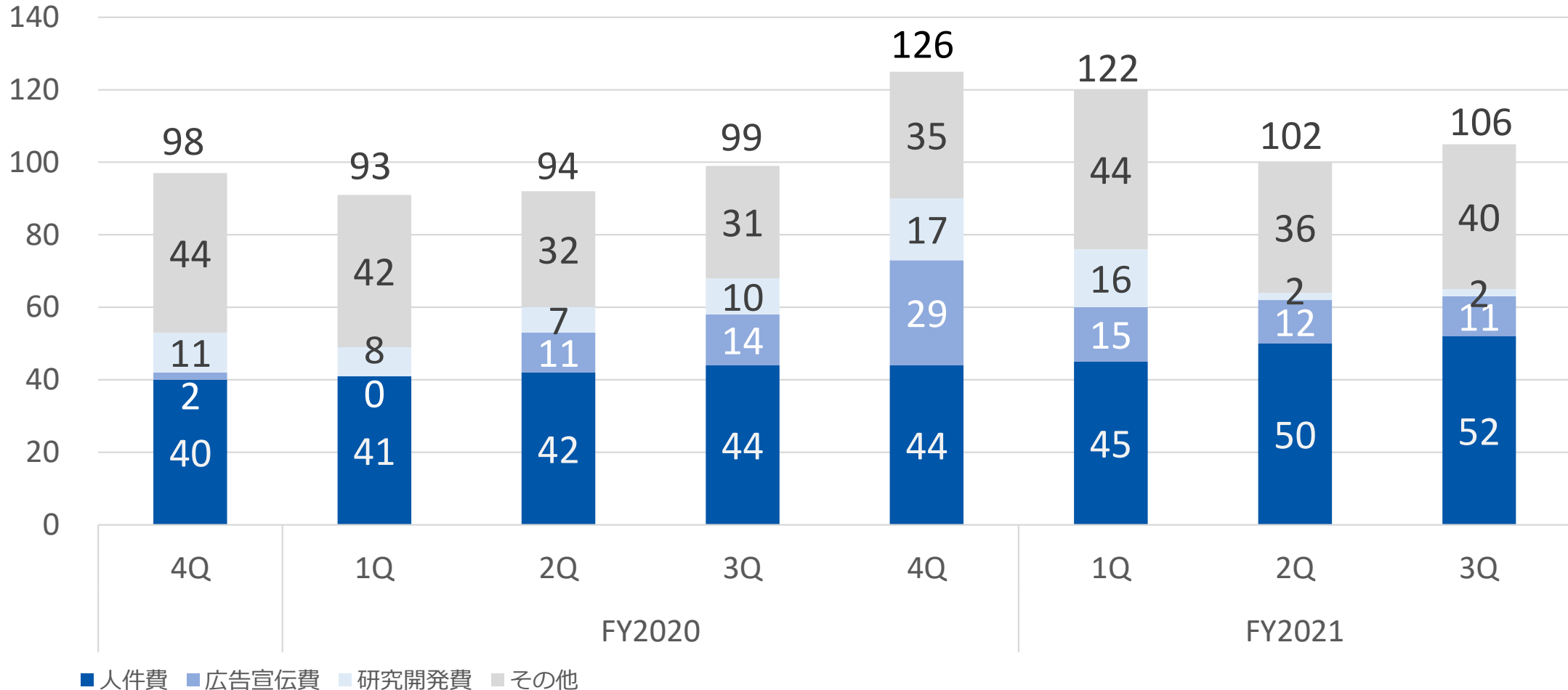
■ 労務費 ■ 減価償却費 ■ その他 — 他勘定振替率

※他勘定振替率とは、売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合

※労務費、減価償却費、その他の合計は、他勘定振替や仕掛品振替の調整前であり、財務諸表の売上原価合計とは異なる

## 研究開発費は第2四半期からの製品開発により同水準で推移 広告宣伝費については4Qにおいて増加予定

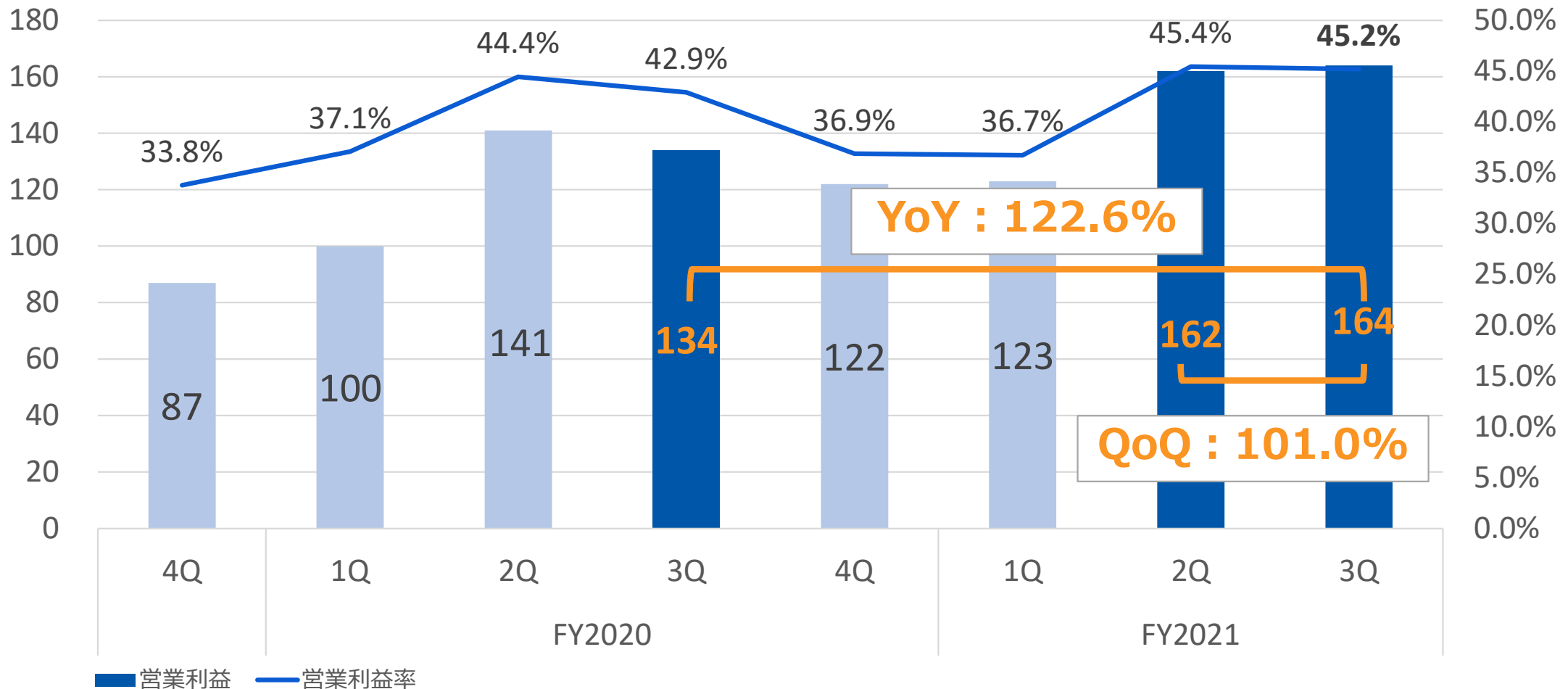
(百万円)



## 販管費の減少から、営業利益が高水準で推移

### 4Qにおいては将来の成長のため、積極的に投資を予定

(百万円)



## 通期計画に対し、各利益が計画以上の進捗

営業利益が大幅に増加も、通期では広告宣伝費を投下する予定のため、

営業利益に大幅な変更なし

	FY2021 3Q 累計 <small>(単位：百万円)</small>	FY2021 通期		FY2020 3Q	
		計画	進捗率	実績	YoY
売上高	1,057	1,410	75.0%	902	117.2%
営業利益	450	517	87.1%	376	119.7%
経常利益	449	515	87.3%	349	128.6%
当期純利益	310	352	88.1%	241	128.2%

## 今後は財務安全性に留意も、積極的に事業への投資、株主還元を図る

(単位：百万円)

	FY2021 3Q	FY2020	増減額
流動資産	1,410	1,413	△3
現金及び預金	1,179	1,218	△38
営業債権	170	150	+20
その他	60	45	+15
固定資産	319	234	+85
有形固定資産	53	65	△11
無形固定資産	153	114	+39
投資その他の資産	113	54	+58
総資産	1,730	1,647	+82
負債	327	300	+26
流動負債	325	288	+36
固定負債	2	11	△9
純資産	1,403	1,347	+56
自己資本比率	81.1%	81.7%	△0.7pt

※百万円未満切捨て



【決算説明資料】

# 5

参考資料

3年平均ROE

34.9%

直近ROE

27.4%

日経新聞NEXT1000 高ROE企業第3位 (2021年2月9日)

少ない投資で高い利益率 高い参入障壁

計画的な財務コントロール

配当性向

35%

継続的な株主還元方針

上場企業平均 約30%

日経新聞NEXT1000 配当性向ランキング13位 (2021年2月23日)

2020年末 自社株買い実施

2019年9月 株式を3分割

<b>社 名</b>	トビラシステムズ株式会社
<b>証券コード</b>	4441
<b>設立年月日</b>	2006年12月1日（創業 2004年4月1日）
<b>本店所在地</b>	愛知県名古屋市中区錦二丁目5-12 パシフィックスクエア名古屋錦 7F
<b>事業内容</b>	迷惑情報フィルタシステムの開発、提供
<b>経営陣</b>	明田 篤 松下智樹 後藤敏仁 結城卓也 中浜明光 松井知行 田名網尚
<b>従業員数</b>	68名（うち臨時雇用17名）2021年7月末日現在
<b>拠 点</b>	名古屋、東京、大阪
<b>主要加盟団体</b>	フィッシング対策協議会、愛知県防犯協会 岐阜県防犯協会、三重県防犯協会、静岡県防犯協会



あき た あつし  
**明田 篤**

代表取締役社長  
1980年生まれ



取締役

**松下 智樹**



常務取締役  
最高財務責任者  
管理部長

**後藤 敏仁**



取締役  
常勤監査等委員

**結城 卓也**



社外取締役  
非常勤監査等委員

**中浜 明光**



社外取締役  
非常勤監査等委員

**松井 知行**



社外取締役  
非常勤監査等委員

**田名網 尚**

## 2021年10月期 四半期業績推移

(単位：百万円)	FY2020				FY2021		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>売上</b>	270	319	312	331	335	358	364
(迷惑情報フィルタ事業)	244	295	290	312	316	335	344
(その他事業)	26	23	22	19	19	22	19
<b>売上原価</b>	77	82	78	83	89	92	92
(労務費)	54	53	54	55	58	62	61
(減価償却費)	11	10	10	12	10	10	11
(その他)	30	42	36	47	48	48	47
(開発分の他勘定振替率) ※	20.1%	22.5%	22.6%	28.5%	23.7%	23.6%	22.7%
<b>販管費</b>	93	94	99	126	122	102	106
(人件費)	41	42	44	44	45	50	52
(広告宣伝費)	0	11	14	29	15	12	11
(研究開発費)	8	7	10	17	16	2	2
(その他)	42	32	31	35	44	36	40

※売上原価のうち、主に従業員の活動内容の種類から、研究開発費及び資産等に計上された割合。

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。